



# じりつ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校  
進路指導部 第 4 号  
発行日 R6. 7. 19 (金)

3年生……

## 『夏は受験の天王山』



夏の頑張りが人生のポイント。努力した自分に感謝するときに必ずきます。

「受験の天王山」と言われる3年生の夏を迎えます。『夏を制する者は、受験を制す』とも言われます。この夏はまとまった時間が取れる最後の機会です。事前にしっかりと学習計画を立て、有意義で最高の夏を過ごしましょう。さて、合格に向けたコツを、先輩方の声を紹介しながら耳を傾けてみましょう。

### 国公立大学・公立短大編

- ◆ 志望校の入試科目や出願日などの入試情報を早めに可能な限り収集する。
- ◆ 夏休みは**苦手克服のラストチャンス**。不安な部分は徹底的に復習し、基礎力を完成させる。
- ◆ 2学期は、身に付けた基礎力を土台にして、問題演習や応用対策などの取組にも努める。
- ◆ **模擬試験や定期考査の問題に再度取り組み**、勉強の成果を確認する。
- ◆ 現役生は、浪人生と違って**受験直前まで成績が伸びる**。最後まであきらめてはいけない。



### 私立大学編

- ◆ 入試が多種多様。志望校の入試情報を可能な限り収集して、どの型で受験するかを把握する。
- ◆ 入試科目は3教科型が基本。**科目数が少ないので1教科の失敗が怖い**。(公立大も同じ)
- ◆ 地方試験場を設置する大学も多い。うまく利用してみよう。



### 私立短大編

- ◆ 志望校の入試情報を可能な限り収集する。オープンキャンパス等への参加が有効です。
- ◆ 私立大学と同様、科目数が少ないので1教科の失敗が怖い。受験科目をよく調べて、夏はしっかり勉強すること。
- ◆ 推薦入試は、書類審査・面接・小論文が一般的。夏から早めの対策をしよう。学力検査のある短大では、「国語または英語」「基礎学力テスト」が多く、夏休みにしっかりと学力をつけておくことが大切です。
- ◆ 欠席日数には特に要注意。日々の授業を大切にしよう。課外ももちろんです。

### 専門学校編

- ◆ 期限を待たずに募集定員に達した時点で募集を締め切る学校もあるので注意すること。
- ◆ 看護系など医療系の専門学校では、国・数・英・理などの筆記試験と面接を課すところが多い。**事前に準備をしないと合格は難しい**。数回受験の機会は設けられていることが多いが、定員が埋まり次第、入試を打ち切るところもある。**要注意!**
- ◆ 学校によって、校風や学生・先生の雰囲気は千差万別。実際に見学して確かめることも大事。

### その他 推薦入試・就職も含めた全般

- ◆ **欠席・遅刻をしない**。当たり前のことです。
- ◆ **身だしなみ・態度・言葉遣いに気をつける**。これらは、面接試験の直前などに一朝一夕に身に付けられるものではありません。きちんとした言葉で、ハキハキと、敬語も正しく使えるように日頃から心がけましょう。たとえ性格は変えられなくとも、声の大きさや動作は自分の心の持ち様で変えられるものです。
- ◆ **志望理由**を大切に。志望理由書作成には、十分な推敲を重ね、意欲・熱意が伝わる書き方をしましょう。
- ◆ 新聞・ニュースには必ず目を通しておく。世の中の早い動きや国際化、**特に、志望している分野の話題については敏感に**。しっかりと考え、自分の考えや意見をまとめておきましょう。社会の動きに目を向けて、自分を磨きましょう。

## 1・2年生……

# 『この夏、何をがんばる??』

何もしなくても夏は過ぎ去るが、1年後・10年後の君の可能性はしぼんでいく……

先生方は、夏休みが来るとピリピリします……。それは、せっかくここまで良いペースで学校生活を送ってきたのに、この夏休みでだらけてしまい2学期以降に本格的な“中だるみ”を引き起こし、受験につまずいてしまう生徒を何人も見てきているからです。夏休みといっても、課外があります。宿題もたくさん出ます。嫌いな??勉強を、たくさんしなければなりません。そこから逃げてしまうと、逃げることに慣れてしまうと、取り返しのがつけないことになりかねません。受験につまずくということは、大げさに言えば『人生を左右する』とも言えます。先生方は、それをとても心配しているのです。



### そうならないために……

ズバリ……生活リズムを崩さないことです。起床時間・(家を出る時間)・(帰宅時間)・家で勉強を開始する時間・就寝時間をしっかり守る。これに尽きます。特に、**課外がない時期にこそ**崩さないよう充分注意しましょう。一度崩れると、元に戻すのにとても大きな苦勞を伴います。後期課外や2学期以降に大きな苦勞をするのは自分自身であることを忘れないでください。

また、**課題を計画的にやること**です。皆さんの中には意識の低い人もいます。提出直前になってバタバタあわてて模範解答や他人の解答を写して提出する……こんなの時間の無駄でしかありません。それに、8月末の実力考査の結果を見ればすぐにバレます。そして何より痛いのは、**サボった分は将来必ず自分に跳ね返ってくる**ということ。“指高プライド”を自覚して、計画的に進めてください。

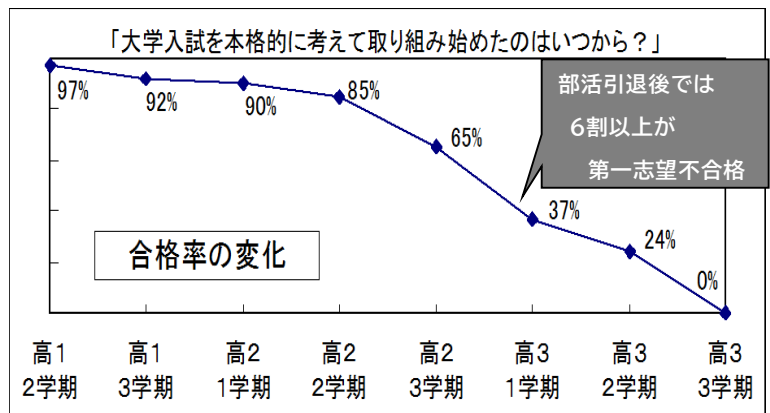
### 学校を知ろう! 職業を知ろう!

全国的には、大学等が主催するオープンキャンパスに1・2年生で参加する人たちが79.1%にも上るように、『**2年生までに具体的な学校や学部・学科をある程度絞り込み、2学期以降ひたすら受験勉強に打ち込む**』というのが受験生のスタンダード。



具体的な目標を、早く見つけば見つけるほど、受験勉強のスタートが早く切れるので、それだけで有利になります(上記グラフ参照)。始める時期が遅ければ遅いほど(高2の2学期以降は)急速に夢がしぼんでいく。『部活動を引退してから……』では、もはや遅すぎるのです。時間的にも余裕のあるこの夏休みに、

いろんな学校の特徴を目にして、自分の近い将来を具体的にイメージしましょう。そして、2学期以降の受験勉強がスムーズにスタートできるようにしておこう。



### 学習実態調査から 6/3(月)~9(日)実施

|     | 平日目標    | 今回      | 昨年度     | 休日目標    | 今回      | 昨年度     |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1年生 | 2時間 30分 | 1時間 23分 | 2時間 14分 | 3時間 40分 | 2時間 40分 | 4時間 31分 |
| 2年生 | 3時間 20分 | 1時間 44分 | 2時間 05分 | 4時間 10分 | 2時間 40分 | 6時間 56分 |

実施期間の違い(定期考査前など)はあるにせよ、昨年度までと比較しても絶対的な学習時間不足は否めません。学習実態調査の目的は、調査そのものにあらず。これをきっかけにして、**勉強する習慣を身に付ける**ことにもあります。勉強時間をしっかりと確保した生活スタイルを確立してもらいたいのです。